

第 15 回 関東産業衛生技術部会・研修会のご案内

関東産業衛生技術部会 部会長 田中 茂（十文字学園女子大）

今般の労働衛生分野において、注目しなければならない問題として、過重労働問題がある。

現在の過重労働の背景には、平成不況のリストラによりベテランの正社員が減員され、増員されているのは人材派遣などのいわゆるフロー人材であり、仕事を遂行するべく能力としては依然として満たされていない。その中で景気の回復しつつあり、商品開発の更なるスピードアップや品質・コストについても企業間競争は激化の一途を辿っている。

特に製造業では、ものづくりの重要性が見直されつつあり、海外生産から国内回帰の動きも散見される。海外生産と並行しながら国内における生産活動は、熟練労働者の不足分を機械化で補いながら展開を進めている。特に労働力については、段階の世代の定年退職、少子高齢化も顕在化しつつあるなか、労働力の補充を人材派遣に頼り、法制化された高齢者継続雇用制度を導入しているが、労働力の確保に対する不安が解消され切っていないと思われる。また近年、海外研修生制度を活用して外国人労働者を研修後に労働力として補おうという動きがあるが就業期間に制限があるなど、課題も多いようである。

このような背景の中では、労働時間が多くなることは当然であるが、過重労働では労働者の健康に影響が少なからず及んでいることは言うまでもないが、職場の人間関係や仕事の結果（品質）さらには家庭問題にも波及する。問題は労働者の健康を確認して疾病発症をいかに防ぐことを第一に挙げなければならない。そのために労働基準法並びに労働安全衛生法の規定事項を遵守し、ポジティブなアプローチで対応していくか？という健康確保施策が重要である。また、会社としては、仕事ができる人ほど過重労働を命じ、結果を求めていくことが常態として行われているのも事実である。逆を言えば、過重労働者が健康問題などで就労できなければ、会社の存続が危ぶまれると言っても過言ではない・・・。

今回の研修会では、指導側と企業側の両面から見た問題と対応を検討することをテーマとして企画いたしました。ご多忙とは存じますが、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

●日 時 平成 20 年 2 月 1 日（金）13 時～16 時

●場 所 退職金機構ビル 大ホール（8 階）

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/access/access01-0.html>

住所 東京都港区芝公園 1-7-6 電話 03-3436-0151

最寄駅

都営地下鉄大江戸線・浅草線 大門駅 A4 または A6 出口から徒歩 5 分

都営地下鉄三田線 御成門駅 A2 出口から徒歩 5 分

JR・モノレール 浜松町駅北口から徒歩 7 分（地図参照）

●定 員 80 名 / 参加費 1,000 円

●申込み 田中 茂 (stanaka@jumonji-u.ac.jp TEL 048-477-0555)

学会員以外も参加できます。座席の関係上、事前に申し込みをお願いします。

●研修内容 「過重労働の総合的な問題と対策について」

座長：イーグル工業株式会社 総務部長 吉川 智明

13：00 受付開始

13：15～14：30 中央労働災害防止協会 健康確保推進部
人材開発課 課長 三觜 明

14：30～15：45 株式会社黒羽ニコン
総務部ゼネラルマネジャー 對木 博一

15：45～16：00 質疑応答

【地図・アクセス】

